

# 宮古地区広域行政組合広報

令和4年1月1日発行 第15号

## 目次

- 年頭のご挨拶.....2
- 職員のご挨拶を公表します.....3
- 令和2年度決算概要.....4～5
- 事務局施設課からのお知らせ.....6～9
- 消防本部からのお知らせ.....10～12



宮古地区広域  
行政組合HP



宮古地区広域行政組合 管理者

宮古市長 山本正徳

# 年頭のごあいさつ

令和4年の年頭にあたり、宮古地区広域行政組合を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

宮古地区広域圏の住民の皆さまにおかれましては、常日頃より広域行政の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当組合におきましては、昨年は、今後埋立完了が見込まれる最終処分場の新設整備などを計画した「一般廃棄物処理施設整備基本構想」及び資源循環型社会の形成を目標とした「一般廃棄物処理基本計画（後期）」の策定や、救急活動体制の強化のため、最新の救助資機材を搭載した救助工作車を配備いたしました。

また、令和元年東日本台風災害により発生した災害廃棄物の処理は昨年で完了しております。

令和4年は、一般廃棄物処理業務では、構成市町村と連携し、より一層のごみの減量化及び資源化を図る施策に計画的に取り組むとともに、一般廃棄物処理施設の安定的、効率的な稼働に努めてまいります。

また、今後整備が必要となる最終処分場についても、計画的に取り組んでまいります。

消防業務では、災害対応の迅速化と情報処理の効率化、高度化を図るため、管轄区域にとらわれずに短時間で対応できる出動体制を構築するとともに、119番通報の受付・出動指令等の消防指令業務を県内の消防本部が共同で処理する体制の整備に向けて取り組んでまいります。

これらの業務を通じて、さらなる住民サービスの向上と共に、災害時においても、安定した事業を継続し、住民の皆さまが、安心して生活できるよう取り組んでまいります。

結びに、皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



宮古地区広域行政組合議会

議長 藤原光昭

新年あけましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、宮古地区広域行政組合議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮古地区広域行政組合は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の4市町村が共同で、ごみ・し尿処理、救急救命、消防活動等の事務を行っている特別地方公共団体です。

皆さまの生活の安定に不可欠な一般廃棄物処理業務並びに消防業務は、災害時においても、サービスを安定的に供給できるよう努め、広域圏が一体となった連携施策や事業の展開など、市町村の行政需要への対応及び役割は重要となってきております。

このような中において広域行政組合の当面の取り組みと課題は、ごみの減量化、一般廃棄物処理施設の安定的、効率的な運営による地域住民の生活環境の保持であり、昨年策定した一般廃棄物処理基本計画（後期）に基づき、計画的に取り組んでいく必要があると考えております。

また、消防業務の広域化及び連携、救急業務の高度化、火災予防の推進など、広域的な視野に立って積極的に取り組むとともに、消防指令業務の共同運用の実現を目指し、地域防災力の強化を図って行くことが重要であると認識しております。

当議会としても、住民の視点に立って、事務執行におけるチェック機能の役割を果たし、地域住民の福祉向上と安全で安心して暮らせるまちを目指してまいります。

本年が皆さまにとって、素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 職員の給与などを公表します

令和2年度の職員の給与・定員管理などを公表します。

## 1) 総括 (令和2年度決算)

### 1 人件費

管内人口 (R3.3.31現在)	歳出額 (a)	実質収支	人件費 (b)	人件費率 (b/a)	人件費率 (R元年度)
76,790 人	3,030,346 千円	87,064 千円	1,636,505 千円	54.0 %	54.8 %

### 2 職員給与費

(単位：千円)

職員数	給与費				合計
	給料	職員手当	期末・勤勉手当		
一般行政職 17人	61,726	17,054	24,399		103,179
消防職 201人	705,941	303,450	272,421		1,281,812
合計 218人	767,667	320,504	296,820		1,384,991

※職員数は令和2年4月1日現在の人数です。  
職員手当には退職手当は含まれていません。

## 2) 職員の平均給与月額・初任給などの状況

### 1 職種別・学歴別初任給および経験年数別平均給料月額 (令和3年4月1日現在) (単位：円)

区分	決定 初任給	経験年数			
		10年	15年	20年	
一般行政職	大卒	171,700	247,900	280,300	312,700
	高卒	150,600	214,800	253,500	287,400
消防職	大卒	199,000	266,000	312,300	353,100
	高卒	169,900	250,700	279,400	319,800

### 2 平均給与月額と平均年齢

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	41.8歳	299,558円
消防職	36.2歳	294,664円

## 3) 職員の手当の状況

### 1 期末・勤勉手当

◎1人あたり平均支給額 (令和2年度実績) 1,362千円  
◎支給割合 期末手当=2.55月分、勤勉手当=1.90月分  
※そのほかに職制上の段階などによる加算措置があります。

### 2 退職手当 (令和3年4月1日現在)

勤続年数	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.270750月分
勤続35年	39.7575月分	47.709000月分
最高限度額	47.7090月分	47.709000月分
一人あたり平均支給額 (令和2年度)	23,972千円	

【そのほかの加算措置】定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)

### 3 そのほかの手当 (令和2年度実績)

各種手当	支給実績 (千円)	支給職員1人あたり 平均支給年額 (円)
特殊勤務手当	12,190	75,249
時間外勤務手当	33,018	196,536
扶養手当	32,688	247,637
住居手当	15,560	305,098
通勤手当	28,707	141,415
夜間勤務手当	14,539	91,443
休日勤務手当	61,113	384,361
管理職手当	8,230	587,829
単身赴任手当	456	456,000
管理職員特別手当	0	0

## 4) 議員等の報酬

区分	報酬年額	区分	報酬日額
議長	45,000円	監査委員	識見を有する者 6,500円
副議長	42,000円		議会選出 6,500円
議員	40,000円		

※管理者及び副管理者の報酬は支給していません。

## 5) 職員数の状況

職種別職員数の状況と主な増減理由 (各年4月1日)

職種	令和3年 (a)	令和2年 (b)	増減数 (a)-(b)	主な増減理由
一般行政職	18人	18人	0人	
消防職	204人	201人	3人	採用人数の増
合計	222人	219人	3人	

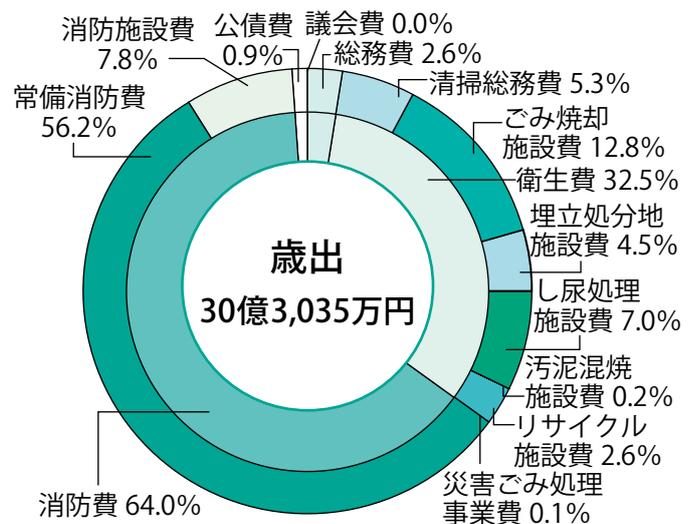
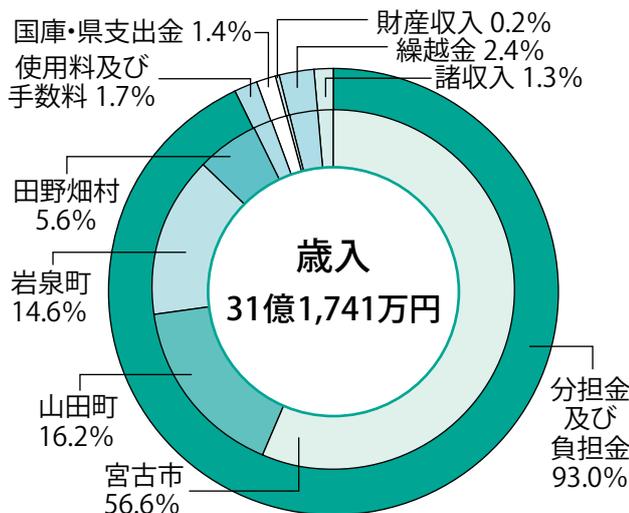
※構成市町村からの派遣職員を含む。

## 令和2年度 宮古地区広域行政組合決算の概要をお知らせします

令和2年度の決算額は、歳入が31億1,741万円で前年度比1,269万円(0.4%)の減額、歳出が30億3,035万円で前年度比2,627万円(0.9%)の減額でした。

### 【歳入】

区 分	金 額	構成比	説 明
分担金及び負担金	28億9,797万円	93.0%	構成市町村からの負担金
宮古市	17億6,267万円	56.6%	
山田町	5億523万円	16.2%	
岩泉町	4億5,628万円	14.6%	
田野畑村	1億7,379万円	5.6%	
使用料及び手数料	5,204万円	1.7%	ごみ処理手数料、消防手数料など
国庫・県支出金	4,585万円	1.4%	岩手県防災航空隊派遣職員分人件費など
財産収入	597万円	0.2%	車両の売払収入など
繰越金	7,348万円	2.4%	
諸収入	4,210万円	1.3%	資源物売却代金など
歳入合計	31億1,741万円		



### 【歳出】

区 分	金 額	構成比	説 明
議 会 費	99万円	0.0%	議会運営に要した経費
総 務 費	7,936万円	2.6%	事務局の管理運営に要した経費
衛 生 費	9億8,305万円	32.5%	ごみ収集運搬委託 廃棄物処理施設管理運営に要した経費
消 防 費	19億4,046万円	64.0%	消防・救助業務に要した経費 施設・車両等の整備に要した経費
公 債 費	2,649万円	0.9%	借入金返済など
歳出合計	30億3,035万円		

## 令和2年度に実施した主な事業

### 議会事業 985,960 円

宮古地区広域行政組合議会の開催に要した経費です。

### 一般管理事業 79,017,777 円

職員の人件費と効果的な事務処理を図るための財務システム等の運用など、事務局の管理運営に要した経費です。

### 清掃総務事業 159,692,742 円

山田町、岩泉町、田野畑村のごみ収集運搬委託等に要した経費です。

山田町地域 63,631,590 円

岩泉町地域 73,527,300 円

田野畑村地域 22,418,000 円

### ごみ焼却施設事業 387,172,231 円

職員の人件費と清掃センターの運転管理及び、施設の修繕等に要した経費です。

### 埋立処分地施設事業 134,070,543 円

職員の人件費と最終処分場の運転管理に要した経費、ホイールローダー、バックホー等の車両整備、ダンプトラックの購入に要した経費です。

ダンプトラック 13,200,000 円

### し尿処理施設事業 212,697,007 円

職員の人件費と衛生処理センターの運転管理に要した経費です。

### 汚泥混焼施設事業 7,510,825 円

下水処理に伴い発生した汚泥を焼却する施設の管理運営に要した経費です。

### リサイクル施設事業 79,150,596 円

職員の人件費と缶・ビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装・段ボール等のリサイクル施設の運転管理に要した経費です。

### 災害ごみ処理事業 2,743,138 円

令和元年10月の台風19号により発生した災害ごみの処理に要した経費です。

### 常備消防事業 1,702,748,436 円

消防職員の人件費と火災予防、警防、救急、救助業務等に要した経費です。

### 消防施設事業 237,714,400 円

消防施設の整備、車両購入等に要した経費です。

浴室等改修工事実施設計業務委託

(宮古消防署) 1,320,000 円

変電設備修繕実施設計業務委託

(宮古消防署) 572,000 円

地下タンクライニング等工事実施設計業務委託

(宮古消防署) 495,000 円

消防緊急通信指令装置(情報系)改修工事

(各消防署) 45,100,000 円

毛無森中継局解体工事

(岩泉消防署) 2,255,000 円

新里分署庁舎解体工事

(新里分署) 22,053,900 円

高規格救急自動車

(岩泉消防署) 38,720,000 円

救助工作車

(宮古消防署) 120,890,000 円

救助用資機材

(新里分署、川井分署) 2,860,000 円

小型オゾン除菌装置

3,448,500 円

(すべての高規格救急自動車に設置)

### 埋立処分地施設事業ダンプトラック購入



購入から20年以上経過し、老朽化したダンプトラックを更新しました。

この車両は、可燃性粗大ごみ破砕物などの運搬に使用されています。

## 施設課からのお知らせ

### ごみの資源化へご協力くださいー分別を正しく行ってもっとリサイクルできますー

宮古広域管内（宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村）では、缶類・びん類・紙類・プラ類など20種類の資源物を分別収集しています。

そのなかで、燃やせるごみに混入されがちな品目（プラスチック製容器包装や紙製容器包装、紙類）を、分別方法を交えて紹介します。

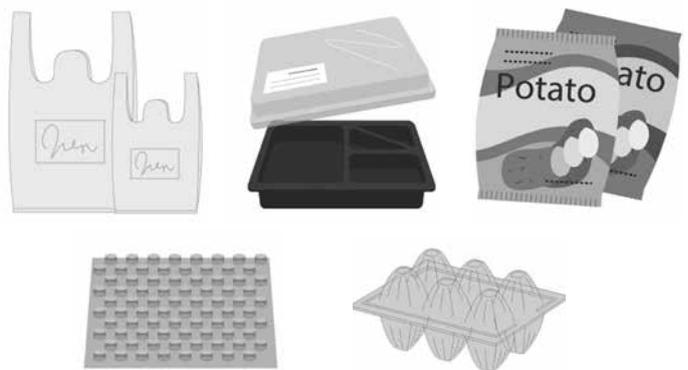
#### プラスチック製容器包装

例



このマークが目印！

- 袋類（商品の袋やレジ袋など）
- ふた類（ペットボトルのふたなど）
- ネット類（果物のネットなど）
- トレイ類（透明や色付きのもの）  
※真っ白なトレイは「白色トレイ」へ
- ボトル類（シャンプーの容器など）
- 緩衝材類
- パック類（たまごパックなど）



#### 〇出し方のポイント

- ・汚れは取り除きましょう
- ・チューブ類や食用油のボトルなど、汚れを落としにくいものは「燃やせるごみ」へ
- ・発泡スチロール緩衝材は「燃やせるごみ」へ
- ・「プラスチック製容器包装専用」袋に入れてください
- ・はさみやカッターなどの危険品は絶対入れないで（作業員のケガなどにつながります）

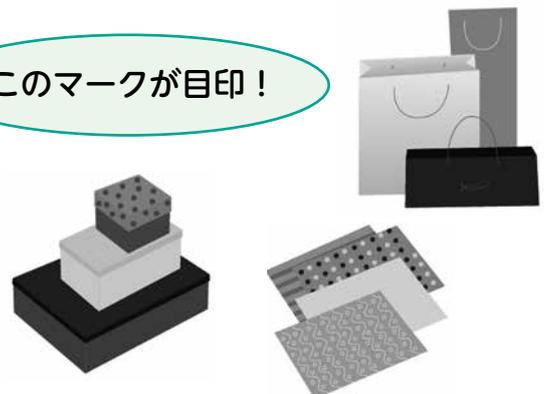
#### 紙製容器包装

例



このマークが目印！

- 紙箱（お菓子や食品の紙箱など）
- 紙袋（デパートや書店の紙袋など）
- 包装紙（デパートや土産の包装紙など）
- 紙容器（カップ麺やヨーグルトの紙容器など）



#### 〇出し方のポイント

- ・カップ麺やヨーグルトの容器など汚れが付着しているものは洗浄してください
- ・汚れの落としにくいもの、石鹼箱など臭いが強く残るものは「燃やせるごみ」へ
- ・トイレトーパーやラップの芯は「燃やせるごみ」へ
- ・「紙製容器包装専用」袋に入れてください
- ・はさみやカッターなどの危険品は絶対入れないで（作業員のケガなどにつながります）

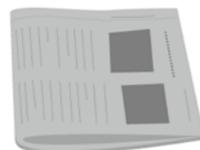
## 紙類

紙類は、新聞紙・雑誌・段ボール・紙パックに分別されます。分別収集された紙類は、業者へ売却されています。ここでは令和2年度の売却量、売却額をご紹介します。

※紙類は紙ひもで十文字にしばって出してください

●新聞紙：新聞紙のほか、チラシなど

○令和2年度の実績  
売却量：449.94 t  
売却額：5,747,841 円



●雑誌：雑誌、書籍などのほか、ノートやコピー用紙など  
※個人情報の記載があるものは「燃やせるごみ」へ

○令和2年度の実績  
売却量：337.18 t  
売却額：3,006,873 円



●段ボール：切り口が波状のもの（段ボール識別マークを参考にしてください）

○令和2年度の実績  
売却量：304.65 t  
売却額：3,378,702 円



識別マーク

●紙パック：牛乳パックやジュースのパックなど（内側が白いもの）  
中を洗浄して、乾かし、切り開く

○令和2年度の実績  
売却量：8.69 t  
売却額：42,757 円



識別マーク

令和2年度の紙類の売却合計金額は12,176,173円でした。この収入は施設の運営（ごみ処理費用等）に充てられます。

もし分別せずに燃やせるごみとして出されると焼却されて終わりですが、資源物として出していただければ、再利用されて有効活用されます。

限りある資源のためにも、資源物になるものは分別をお願いします。

イラスト出典元：日本容器包装リサイクル協会

## 出前講座をご利用ください

宮古地区広域行政組合では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度の施設見学の受入れを制限しています。今年度から新たな取り組みとして、宮古広域管内の住民のみなさまを対象に出前講座を実施しています。当組合の職員が出前講座開催を希望する団体のもとを訪問してごみの分別や処理について説明します。

この機会にごみの分別や処理について学んでみませんか？小学校を中心に実施していますが、一般の団体（自治会等）も大歓迎です！まずは事務局施設課（☎ 0193-64-7111）までお気軽にお問い合わせください。

### ●出前講座実施の様子



宮古市・千徳小学校



岩泉町・小本小学校

児童の皆様からお寄せいただいた主な感想を一部ご紹介します。

- ・写真やDVDを見て、清掃センターのことがとてもよく分かりました。
- ・ごみを再利用して作ったものを見せてもらいとても驚きました。
- ・他にもごみのことについてもっと知りたいです。



山田町・ゆうなご会

組合職員が皆さまのもとにお伺いしてご説明します。DVDを使って、1時間程度の講座になります！



宮古地区広域行政組合  
事務局施設課

令和3年度出前講座実績（令和3年11月末現在）

- ・小学校 9校 296名
- ・一般 1団体 30名

出前講座の申し込み・問い合わせ  
事務局施設課（☎ 0193-64-7111）

## ごみ処理場に持ち込めないもの

よくあるお問い合わせの中から、ごみ処理場に持ち込めないものを掲載します。

持ち込めないもの	備 考
エアコン テレビ 冷蔵庫・冷凍庫 洗濯機・乾燥機	家電リサイクル法対象のため、販売店や家電リサイクルセンター（☎ 0120-319640）へ相談してください
自動車のタイヤ・ホイール	販売店やガソリンスタンドへ相談してください
オートバイ	販売店へ相談してください
石・砂・土などの自然物	廃棄物ではないため持ち込めませんが、園芸用の土など販売しているものは燃やせないごみ
インクカートリッジ	販売店へ相談するか郵便局に設置されている回収箱へ
プリンタートナー	販売店へ相談してください
エンジン	販売店へ相談してください エンジン付きの草刈機等も持ち込めません
消火器	販売店へ相談してください
バッテリー	販売店へ相談してください
ピアノ	販売店へ相談してください
農薬・劇薬等の毒性を有するもの	販売店へ相談してください
ガソリン・灯油等の引火性を有するもの	販売店へ相談してください
浴槽（FRP 製）	販売店や工事店へ相談してください
事業所からの産業廃棄物	産業廃棄物処理業者へ相談してください 書類などの紙類や従業員の飲食に伴って排出された缶・びん・ペットボトルなどの一般廃棄物は持ち込めます

上記は一例です。ご不明点等ありましたらお問い合わせください。

※問合せ先：事務局施設課 ☎ 0193-64-7111

## 再生品展示会を開催しました

令和3年10月29日から31日にかけて、再生品展示会が開催されました。

令和2年度はコロナウイルス感染症拡大防止で開催が見送られたため、約2年ぶりの開催となりました。

今回は49点の再生品が展示され、3日間で140名の方にご来場いただきました。複数の方から申込があった展示品は、厳正な抽選により当選者を決定し引き渡されました。



今回展示された再生品の一部

## 消防本部からのお知らせ

### 宮古消防本部管内の出動体制の見直しについて

三陸自動車道の新規区間開通など道路交通網の変化に伴い、消防署所の出動区域の見直しを行いました。これにより火災・救急・救助などの災害が発生した場合に消防署所の管轄にとらわれない、被害の軽減を最優先とする出動体制となりました。

#### 【各消防署所内の出動区域】

※網掛け部分が見直しをした区域になります。

消防署所	出動区域
宮古消防署	旧宮古市の全域 旧新里村の全域 旧田老町の全域 旧川井村の全域
田老分署	旧田老町の全域 宮古市田代のうち佐羽根・笹平 宮古市崎山のうち松月 岩泉町小本のうち大牛内を除く地域 岩泉町中島 田野畑村のうち田代・甲地・千丈・七滝・猿山の周辺を除く地域
田野畑分署	田野畑村の全域 岩泉町小本のうち大牛内
新里分署	旧新里村の全域 旧川井村の全域
川井分署	旧川井村の全域
山田消防署	山田町の全域 宮古市重茂のうち川代
岩泉消防署	岩泉町の全域 田野畑村のうち田代・甲地・千丈・七滝・猿山の周辺

このほか、宮古消防本部だけではすべてに対応できない大規模な災害等が発生した場合は、県内の消防本部へ応援出動を要請し災害対応します。

### Net119 緊急通報システム

障がいなどにより音声での通報が困難な方が、スマートフォン等で119番通報できるシステムです。GPS機能による通報位置の特定と、チャット機能で会話をすることができます。

#### 利用するには……

事前に登録が必要となります。当消防本部ホームページの「119番通報」メニューから「音声による通報が困難な方へ」「Net119について」と進み、QRコードを読み込んで申請することができます。

消防本部指令課、最寄りの消防署、分署へお気軽にお問い合わせください。



宮古地区広域行政組合消防本部  
HP <http://fire.miyako.iwate.jp/>  
TEL 0193-77-5019  
FAX 0193-62-9008



近年の気候変動の影響による台風や集中豪雨の多発化、地震や津波の切迫性など、大規模な自然災害の発生が懸念されており、当消防本部管内でも東日本大震災や台風災害により多くの尊い命や大切な財産が失われています。

自然災害における消防活動は、過酷な環境下で常に危険と隣り合わせで行われており、過去には活動中の消防職団員が犠牲になった事案も発生しています。また、近年特に被害が広範囲に及ぶ災害が発生していることから、大規模な部隊活動や関係機関等との緊密な連携が消防活動を行う上で非常に重要になっています。



↑ 【土砂災害救助訓練】



↑ 【倒壊家屋等における座屈救助 (USAR) 訓練】



↑ 【様々な部隊をまとめ安全かつ効果的に消防活動を展開させるための現場指揮訓練】



宮古地区広域行政組合消防職員204名が一丸となって災害に備え訓練をしています。

タイトルの「屠龍技」とは、無駄な努力をすることのたとえです。東日本大震災時に福島第一原発で放水活動などを行った東京消防庁第六方面消防救助機動部隊では、万が一に備える心得とし大切に引き継がれています。

当消防本部では、過去の災害を教訓として、緊急消防援助隊をはじめとする関係機関等との連携活動の効果を高め、被害の軽減を図るため、屠龍技の言葉を胸に訓練を重ねています。

## 屠龍技—とりょうのぎ—

昔、中国の山奥に龍が住みつき、時折現れては村人に害を為した。一人の青年が、「誰かがこの龍を退治しなければならぬ。」と考え、その龍を屠(ほふ)る技を身につけるべく「屠龍技」を磨いた。その後、龍は二度とその村に姿を現さなかったが、青年は生涯をかけて一念を全うした。

龍を天災にたとえ、龍の出現の有無に拘らず屠龍技を磨く。但し現れたなら一撃のもとにこれを屠る。我々の存在は無駄になったらいい。しかし、天災が起きたら、必ず助けに行く。これこそまさに我々の目指すところである。災害に備え常に訓練を重ねる。「何もないこと」と、「何もないようにしたこと」とは天と地ほどの差がある。これが我々の心得である。

# 今年度新たに4人の消防士が加わりました



写真左から <sup>きりた</sup>桐田副管理者、<sup>やまざき たつや</sup>山岸 竜也 消防士、<sup>いしだ こなつ</sup>石田 小夏 消防士、<sup>かみいえ りな</sup>上家 利菜 消防士、<sup>はこいし なおや</sup>箱石 直也 消防士、<sup>やまもと</sup>山本 管理者

宮古地区広域行政組合では、令和3年4月、新たに4人の消防士を採用しました。

4人は、矢巾町にある岩手県消防学校の第67期初任教育課程に入校し、9月末に6ヶ月間の教育訓練を修了し、管理者である山本宮古市長と副管理者の桐田副市長に報告しました。(上記写真)

10月からは、宮古、山田、岩泉の各消防署に配属されており、今後の活躍が期待されます。

希望に満ち溢れた若き消防士をよろしくお願ひします。

- 宮古消防署配属（2名）  
箱石 直也 消防士  
上家 利菜 消防士
- 山田消防署配属（1名）  
石田 小夏 消防士
- 岩泉消防署配属（1名）  
山岸 竜也 消防士

## 新人消防士の抱負

宮古消防署 <sup>かみいえ りな</sup>上家 利菜 消防士

宮古消防署の警防係として、火災や救急、救助活動に従事しています。今後は、更なる知識や技術の向上に努め、住民の皆様が安心して生活できる地域づくりに貢献していきたいです。

また、救急救命士の資格を活かし、適切かつ迅速な判断、処置を行い、傷病者と家族の気持ちに寄り添った救急活動をしていきたいと思っています。

まだまだ男性社会というイメージが強い職場ですが、女性も必要とされている職場です。女性消防士の魅力を伝え、さらに女性消防士が増えるよう活躍の場を広げていきたいです。